

はじめに



(財)地球環境戦略研究機関

理事長 森島昭夫

財団法人地球環境戦略研究機関（IGES）は、アジア太平洋地域における持続可能な開発の実現を目指し、実践的かつ革新的な戦略的政策研究を行う国際的研究機関として、1998年に日本政府と神奈川県との支援により設立されました。

3年を1期とする戦略研究計画に基づき、具体的な研究課題を設定してチームとして役割を分担しながら共同研究を行うプロジェクト方式によって研究を進めています。本年報が対象とする2004年度は、第3期戦略研究計画の初年度として、各プロジェクトで研究が開始されています。

これまで第1期（1998年～2000年度）、第2期（2001年～2003年）の6年間にわたって、政策提言に結びつく実践的かつ問題解決型の研究を、各プロジェクトが相互に連携しながら進めてきました。特に第2期では、それまでの研究成果を基礎に、国際的な政策研究機関として積極的に取り組んできました。具体的には、政策決定者のニーズに戦略的に対応するために、ダイアログ（対話）を通じて政策ニーズの把握と研究成果の普及を図るとともに、国際機関や国際的なイニシアティブとも連携し、研究成果がより効果的に政策に反映されるための仕組みやネットワークの形成を行ってきました。また、「持続可能な開発のための世界サミット（WSSD）」をはじめとする主要な国際会議に積極的に参加するとともに、こうした機会をとりえてサイドイベントの主催等を行ってきました。これらの多様な事業展開を通じて、次第に、IGESの存在が国際的に認知されるようになってきました。

2004年4月からの第3期研究では、気候政策、森林保全、都市環境管理、淡水資源管理、産業と持続可能な社会、長期展望・政策統合の6つのプロジェクトと、クリー

ン開発メカニズム（CDM）プログラムといった活動が始動しています。これらは、アジア太平洋地域の政策ニーズにより一層則した具体的かつ実践的な政策の研究を進めていくとともに、第1期、第2期の活動を通じて蓄積した研究成果・ネットワークなどの知的資産を最大限活用して、研究成果の具現化に向けた活動を行っています。2004年12月には、IGESが事務局を務めてきたアジア太平洋環境開発フォーラム（APFED）が、アジア太平洋地域の持続可能な開発に向けた提言を含む最終報告書を採択し、2005年3月の第5回アジア・太平洋環境と開発に関する閣僚会合（MCED2005）で公表されました。APFEDの討議過程では、IGESの研究員が全面的に協力をしましたが、これらの貢献を通じ、IGESの研究活動に対する国際的な認知度はさらに高まったと考えています。また、政府間ネットワーク「アジア太平洋地球変動研究ネットワーク（APN）」も傘下に加わり、同地域の政策決定者や研究機関との連携が一層強化されています。

また、IGESの研究成果を広く各国政府や自治体の政策形成や企業・市民の行動に反映させられるよう、今期から新たに情報発信・アウトリーチプログラムを設置し、その一環として、2004年11月に、IGES及び関連機関の研究成果や、各国・各地域の政策動向などをはじめ、環境と持続可能な開発に関する世界の最新情報をオンラインで提供する環境情報データベース「IGES Enviro Scope」（エンバイロスコープ）を立ち上げました。今後、こうした情報コミュニケーション技術を駆使することにより、情報収集・発信の即時性をさらに高めていきたいと考えています。

IGESでは、これまで培ってきた研究成果を礎に、今後より一層、高い水準の国際的戦略研究を進めるとともに

に、多様な関係者（ステークホルダー）を対象とする積極的なアウトリーチ活動を通して、私たちの研究成果の政策・意思決定への具現化を目指していきます。そして、これらを通じて、アジア太平洋地域から、地球規模の持続可能な社会の実現に向けて、さらなる努力を重ねてい

く所存です。

今後ともIGESの研究活動に変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。

森 寛 昭 夫

IGES 2004年度 年報

目 次

IGESのあらまし	6
各研究プロジェクト・プログラムの活動報告	
気候政策プロジェクト	10
森林保全プロジェクト	14
都市環境管理プロジェクト	16
淡水資源管理プロジェクト	18
産業と持続可能社会プロジェクト	20
長期展望・政策統合プロジェクト	22
CDM（クリーン開発メカニズム）プログラム	24
戦略研究の具現化に向けた活動	
エコアジア2004	28
2004年度「産業と環境」国際シンポジウム	28
COP10（国連気候変動枠組条約第10回締約国会議）	
サイドイベント「適応問題を開発政策の主軸へ」	29
COP10（国連気候変動枠組条約第10回締約国会議）	
サイドイベント「京都議定書」	29
COP10（国連気候変動枠組条約第10回締約国会議）	
サイドイベント「CDM事業推進へ向けた次へのステップ」	30
協働型森林ガバナンスワークショップ	30
第3回RISPO（革新的・戦略的政策オプション研究）全体会合	31
ICS-CDM/JIプログラム（CDM/JIに関する途上国等人材育成支援事業）	
2004年度事業総括会議	31
MCED2005（第5回アジア・太平洋環境と開発に関する閣僚会議）	
サイドイベント	32
情報発信・アウトリーチ活動	33
IPCC/TSU（国別温室効果ガスインベントリー プログラム技術支援ユニット）	36
APN（アジア太平洋地球変動研究ネットワーク）	40
その他の活動	
トヨタ ステークホルダー・ダイアログ	44
賛助会員との交流	45
持続性センター	46
資 料 編	
財務諸表	50
財団概要（組織、役員等一覧）	53

